

令和6年度阿見町総合教育会議議事録

会議日時	令和7年1月28日（火）午前10時00分から午前11時10分	
会議場所	吉原交流センター 2階 吉原ホール	
構成員	出席者 町長 千葉 繁 教育長 宮崎 智彦 委員 湯原 敦子 委員 岡田 治美 委員 安江 健	欠席者 委員 小林 和裕
構成員以外の出席職員	教育委員会事務局 教育部長 学校教育課長 学校教育課員	
議題	1 開会 2 町長あいさつ 3 出席者紹介 4 協議事項 （1）朝日中地区の児童生徒数の現状と今後について 5 閉会	
傍聴者	なし	
議事内容		
事務局	ただ今から、令和6年度阿見町総合教育会議を開会いたします。 総合教育会議は、町長と教育委員会委員が構成員となっており、本日は構成員5名が出席していることをご報告します。 (町長あいさつ) (出席者紹介)	
事務局	それでは協議事項にうつります。阿見町総合教育会議運営要綱第3条第1項により、町長が議長となりますので、ここからは町長に議事進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。	
町長	それでは議長を務めさせていただきます。よろしくお願いします。 はじめに、協議事項（1）朝日中地区の児童生徒数の現状と今後について、事務局から説明をお願いします。	
事務局	朝日中地区の児童生徒数の現状と今後について、ご説明いたします。 昨年度も協議していただいたところではございますけれども、今	

年度は児童数の増加が著しい本郷小学校の増築校舎の建築場所となるプールの解体工事を行い、来年度から増築校舎の工事も始まることから、改めて協議事項とさせていただきました。

厚生労働省によりますと、日本の人口は近年減少局面を迎えており、2070年には総人口が9000万人を割り込み、高齢化率は39%の水準になると推計されています。また、団塊の世代の方々が全て75歳となる2025年には、75歳以上の人口が全人口の約18%となり、2040年には65歳以上の人口が全人口の約35%になると推計されています。

諸外国と比較しても、日本における少子高齢化の動きは継続しており、今後も、人口の推移や人口構造の変化を注視していく必要があります。

近年、国全体で少子高齢化がますます進展しているところですが、当町においては一昨年10月30日に人口5万人を突破し、その後も増加が続いています。当町の児童生徒数を見ると、全体としては、これまで減少もしくは横ばいで推移していましたが、地域により増減の差が大きくなってきています。朝日中地区においては宅地開発が進み、特に本郷小学区では、今後も児童数増加が見込まれています。

資料1をご覧ください。こちらは、本郷小児童数の令和12年度までの推移です。

左ページは令和6年5月1日現在の住民基本台帳を基に抽出したもので、転出入を見込まずに、現在の児童及び本郷小学区にお住いの就学前の幼児がそのまま入学した場合です。これによると、令和6年度の児童数は1年生から6年生までの合計550人、令和7年度は585人、令和12年度には704人と、約700人程度が想定されます。

昨年度は、令和6年度547人でしたので比較すると3人増えています。令和11年度で比較すると、699人でしたので5人増えています。

右ページは、令和4年度から令和6年度の児童数の推移からのコーホート変化率で算出したものです。これによると、令和9年度には762人、令和12年度には960人の児童数が予想されています。

昨年度と比較すると、令和6年度は544人でしたので6人増えています。令和11年度は984人でしたので97人の減となっています。児童数の増加率は一定ではなく、年度によって波があると思われます。

表の見方ですが、右から2行目の学級数とあるのは、その年度に必要とされるクラス数です。カッコ内の数字は内数で、特別支援学級数となります。特別支援学級は1クラスあたりの人数の上限が8人ですので、状況によっては普通教室をパーテーションで半分にして、2クラスで使用する場合があります。カッコ内の数字はそういった分割をする場合も含めて、必要とする普通教室の大きさの教室数となります。令和6年度を例に挙げると、特別支援学級は5クラスありますが、普通教室3室分で運営しているということです。

令和8年度以降はカッコがなく、特別支援学級用の教室数は含まれていません。これは、未就学児がどれだけ特別支援学級の在籍となるかが決まっていないことによります。あくまで参考ですが、ピーク時のあさひ小児童数は昨年度807人で、特別支援学級数は7クラスありました。このことから、本郷小の令和10年度には同様の特別支援学級数になることが予想されます。

本郷小の教室数は、現在、普通教室として使用している教室と、普通教室以外に使用しているが普通教室に転用可能な教室を合わせると、既存校舎に21教室分あります。

右ページの表をご覧くださいと、令和7年度には24教室となりますが、児童クラブで使用している校舎の4教室分が戻り、25教室分が確保できますので、わずかですが1教室分の余裕が生じます。

しかしながら、令和8年度は25教室分でも不足が生じる可能性があることから、令和7年度から2か年で普通教室18教室分を予定する校舎を増築いたします。令和8年度に関しては増築校舎の部分引き渡しで対応したいと考えています。令和9年度以降は43教室分が確保できますので、当面は教室数に不足は生じないということになります。

資料2枚目は、あさひ小児童数の令和12年度までの推移です。見方は本郷小と同じですが、普通教室数の欄にカッコがあります。あさひ小は開校当初から特別支援学級用に4教室分、日本語指導教室用に1教室分が専用教室として設けられていることから、5教室分を表記しています。あさひ小は本郷小と対照的に児童数が年々減っていく傾向にありますので、教室数は少しずつ余裕が出ていきます。

資料3枚目は、朝日中生徒数の令和12年度までの推移です。本郷小とあさひ小の進学先が朝日中ですので、左ページは本郷小とあさひ小の右ページの変化率を用いた推計結果を予め記載しています。そして右ページは、毎年1割程度の児童が県立中や私立中といった町立中以外に進学するため、朝日中以外に進学する生徒数を除いた

	ものです。 学級数の欄は小学校と異なり、全ての年度でカッコの特別支援学級数を記載しています。これは、本郷小とあさひ小の特別支援学級の児童がそのまま朝日中に進学した場合に必要な学級数となります。 朝日中については、生徒数は増えていくものの、本郷小の増加と、あさひ小の減少が重なるため、緩やかな増加となります。現在の推計では校舎の増築は必要としないものの、教室数に余裕がある状態ではありませんので、教室不足が生じる際は、教室の転用やパーテーション工事で対応していきます。
町長	ただ今の説明について、委員の皆さんと意見交換をしたいと思います。質問事項や、何かご意見等はありませんでしょうか。
教育委員	町内にいくつかある地区の中で朝日中地区だけが協議事項となっているのは、開発が進み住宅が増えて大きな人口変動が予想されているためでしょうか。他の地区については大きな人口の変動が予想されず、教室数の不足が見込まれないため、朝日中地区のみを検討しているという背景でしょうか。
事務局	おっしゃる通りでございます。
教育委員	全体的に人口は減少していくような気がするのですが、なぜ朝日中地区だけなのかなと。増加しているのはこの地区だけということでしょうか。
事務局	特に本郷小地区が急激に増加しているということで、教室数の確保のために増築工事等で対応しています。教室に不足が生じてしまうわけにはいかないので、協議事項とさせていただいております。
教育委員	本郷小で教室不足が見込まれるため、増築工事により合計43教室となりますが、決して余裕があるわけではないとご説明いただいたかと思います。しかし、43教室もあればかなり余裕があるのではないかと感じてしまうのですが、特別支援学級で使用する教室数を含めると足りなくなる可能性があるということでしょうか。
事務局	決して余裕がある状態ではないのは朝日中の話でありますけれども、本郷小に関してもいつどれだけの児童が転入学してくるかを推計することは大変難しいことですので、毎年人口の増加を注視していきたいと考えております。

教育委員	本郷小は教室数に余裕があると考えてよろしいですか。
事務局	はい。今の推計では余裕があります。
教育委員	足りなくなる可能性が高いのは朝日中でしょうか。
事務局	今の推計では余裕がある状態ではないですが不足は生じません。しかし、今後の増加率によっては教室の転用やパーテーション工事対応が必要になると考えております。
町長	荒川本郷地区は第一、第二、第三という区画整理を行っておりまして、第一はカスミのあたり、第二はカインズ、ベイシアのあたり、第三は本郷小のあたりです。その他に12区画の区画整理を行っており、内6区画は分譲または整備中、残り6区画の内4区画が未着手となっています。このように開発が急速に進められていますので、令和12年度に960人という推計がされています。 住宅開発が進んでいますが、そこにお子様をどれだけ連れてきていただけるのかは全然わかりません。雲をつかむような形で進んできました。 本当はあさひ小ができるときにこのようなことをやるべきだったのではないかと私は思います。あさひ小はあんなに素晴らしい学校なのにどんどん児童数が少なくなってしまうています。そうなってくるとあさひ小学校の通学区域の検討も最初にやるべきだったと思います。 私が一番問題に思っているのは、実穀小と吉原小を閉校したことです。吉原地区においては吉原土地区画整理事業として開発が進められており計画人口は2,600人で、現在はちょうど半分の1,300人です。吉原地区の子どもたちはスクールバスで阿見小学校に通っており、今後も人口増加が見込まれるので、阿見小学校の児童数も少し増えるのではないかと思います。 実穀小地区からは120人程度の児童が本郷小に通っていますが、もし実穀小があれば本郷小の増築の必要はなかったのかなと思います。 学校は最後の拠点だと思っていますので、絶対に守っていきたいと思っています。吉原小も実穀小も閉校後に地区公民館にしてもらいたいという要望があったので、このような形になりました。旧校舎については、どこかに使ってもらいたいと、ずっと募集していますけれども、老朽化が進んでいますので、直しても何年かで使えなくなってしまうようではいけないと。そのままにしておくわけにもいかない

	ので壊すことになりましたが、きれいな建物が見えるようになるのもっと利用してもらえるのではないかと思います。また、旧校舎の解体により広くなった分、何か利用ができるのではないかと考えています。実穀ふれあいセンターに関しては、職員の努力により、1億9,000万円の補助金をいただき、建設費の約半分を補助金で賄うことができました。、エレベーターも設置されていますので、地域の拠点として、生涯学習の拠点として使っていただきたいと思います。 本日の会議も、いつもの役場の301会議室を使わずに、吉原交流センターで開催したのは、ここを見てもらいたいという気持ちが担当課にあったのではないかと思います。吉原交流センターも立派になりましたので、吉原地区の拠点として利用していただきたいと思います。 教育委員の皆さんから他にご意見やご質問等はございませんか。
教育委員	質問ではないのですが、私は子供が本郷小に通っていたときはすごく人数が多い時だったので、その時と同じくらいになっていくのだなという印象です。しかし、今から入ってくる人たちは、今の本郷小の人数から考えると、本当に入れるのだろうか、朝日中も入れるのだろうか。校舎はどうなるのだろうか。色々な不安なお話が耳に入ってきています。この資料を見て、教室が足りるということがわかり安心しました。 町長がおっしゃったような、今後どこを開発してどのように増えていくのかというお話は、町民として大変興味深かったです。
町長	この前の日曜日に二区南で町長と語る会がありましたが、語る会を開催していただくと、このような深い話ができるので、不安の解消ができるのではないかと思います。聞いている地区と聞いてない地区では温度差がでてしまうので、広報で児童推移を流すと少しは違うのではないかと思います。
教育委員	私も教室数が足りることが資料から分かったので、大変安心しました。ただ、現場を考えると教室が足りていても、登下校の安全面や、休み時間のグラウンドでの遊びの危険度、体育館の使用できる回数の制限等、今後学校で検討しなければならないことが多くあると感じました。とりあえず、安心して生活ができる教室数が確保されることはすごく安心材料となりました。
町長	もっと増える可能性もあるのですが、まだ先になってみないとわからないですからね。もう1つ学校があっても良いのではないかと議論もあると思います。しかし、学校を新たに作るには40億円

	程度のお金がかかります。今後子どもが増え続けていくことはない ので、なんとか本郷小で頑張っていけないかということで、プールを 解体し、校舎を増築することになりました。どうしても体育館が使え ないということであれば、町民体育館を使っていただくなど、工夫し ていく必要があると考えています。
教育長	私は、令和3、4年度にあさひ小の校長として勤めていたのです が、町で一番大きな学校で通常学級が23クラス、特別支援学級も6 クラスあったので、時間割の編成には大変苦勞しました。特にグラウ ンドに関しては遊びの種類で場所を固定したり、遊具は1・2年生の み使用可能としたり仕掛けをする必要がありました。 近隣のひたち野うしく小では休み時間によって遊ぶ学年を制限し ているという話も聞いたことがあります。本郷小の校庭規模を考え ると、けがを未然に防ぐためにも同様の配慮が必要になるのではな いかと思います。 事務局とも話をしているのですが、児童数の増加に伴い、教職員数 も増えるため、駐車場の確保が問題になってきますので、今後検討し ていかなければならないと考えています。
町長	駐車場は考えているのですか。間近に迫っているのです。
事務局	本郷小は臨時駐車場を広めに確保していますので、校内に入りき らない場合は、少し歩いていただく必要があるのですが、臨時駐車場 にとめていただこうと考えています。
町長	消防団の詰所の隣も使っているのですか。その土地の所有者は誰 ですか。学校ではなく町の土地ですか。
事務局	本郷小の敷地ではありますが、いくつかの土地筆が混ざっており ます。
町長	本郷小のエリアであっても、使ってよい場所と使ってはいけない 場所があると思います。私の感覚では、本郷小の所有地ではないけれ ども、町有地なので駐車場として使用していると思っておりました。 あとで確認をお願いします。 プール解体や、放課後児童クラブ建設に際して、本郷小の周りを 4、50回見に行ったのでわかっていますが、近隣で駐車場を確保す ることになれば、不足台数等を調べ、早めに動く必要があると思いま す。

事務局	本郷小の場所なのですが、昭和30年代から50年代にかけて国土調査を行っています。その調査により、本郷小学校の外枠が決定しております。外枠の中には個人所有地などが混ざっておりまして、本郷小学校の土地はその中の一部となっております。
町長	個人所有地が含まれているのは問題ではないでしょうか。あとで建物を建てたりする際に、実穀小の跡地のような話になるのではないのでしょうか。本来であれば、判明した時点で切り替えていく必要があったと思います。私はどこがどうなっているかわかりませんが、消防団の詰所がある時点で、あそこは違うという認識でした。
事務局	土浦の法務局で旧公図等を調べているのですが、それでも限定がされづらいという状況です。
町長	そのままにしても問題ないかを確認しておいてください。あとで何かあった時に町の責任が問われるので。本来であれば実穀小の跡地の問題が判明した際に、全ての学校を確認する必要があったと思います。 当時、厚意でいただいた土地は結構あります。実穀小もそうです。厚意でいただいたものをきちんと登記していないので、このような話になっているわけです。実穀ふれあいセンターを建てる際には反対運動もありました。ただ、実穀ふれあいセンターが建っている土地は個人所有地ではないので問題はなかったですが、もし同じように個人所有地が残っているのであれば何とかして処理しなければなりません。本郷小は法務局まで行ったのであれば、その先に問題ありませんと結論づける必要があります。 少し心配しているのは、本郷小の児童クラブが敷地内から敷地外になるので、そこまでの行き来です。できるだけ近隣にと思い、何回も見に行き、周りも調べましたが、あそこしか土地がありませんでした。新設される放課後児童クラブ棟は、町長と語る会でも話しましたが、将来少子化が進んだら、放課後児童クラブを本郷小に戻して、新設される児童クラブは地区公民館として使えるような設計をお願いしています。あさひ小地区には本郷ふれあいセンターがありますが、本郷地区にはないので、地区公民館として利用できる設計をお願いしました。しかし、少し離れているので、子どもたちの行き来が少し心配ではあります。放課後児童クラブへの移動はどのようにするのですか。
事務局	小学校から児童クラブまでの移動については、子どもたちの安全を確保するために指導員が同行するように担当課である生涯学習課

	で調整しております。
町長	他にご質問はありませんでしょうか。ないようでしたら、朝日中地区の協議は以上として、せっかくの機会ですのでその他として質問を受けたいと思います。温水プールはどうなってるのかなど何かご意見、ご質問はありますか。
教育委員	温水プールは気になります。
町長	私の任期中にということで頑張ってきたのですが、任期中にはできないことを町議会にもお詫びしました。担当も教育部局から政策に代わりまして、まっさらで始まったような状況です。現在は令和11年を予定しておりまして、かなり先だなという印象を持たれるかと思いますが、設計や補助金を獲得するためにはこのくらいの時期になってしまいます。担当課は一生懸命取り組んでいます。私は、大きな事業をする際には必ず国や県の補助金を大前提にしています。1、2年待つことで50%の補助金が得られるのであれば、できるだけ無駄な税金を使わない選択をしたいと思っています。 現在の計画では、25mプールに温浴施設やジム等を完備した施設となる予定です。ただ、場所をどこにするかがかなり大きな問題となっています。 小中学校のプールが老朽化により使用できるプールが3校しかなく、中学生は民間プールで授業をしていますので、令和11年までどのように10校の水泳授業を行うかを考えていく必要があると思っています。
事務局	来年度は2校のプールを使用します。
町長	他は民間プールを使用するのですね。 温水プールができれば365日授業をするわけではないですが、いつでも授業をすることができるようになります。今のプール授業は10時間だそうです。たった10時間のために水着を買わなければいけないのですかと言われたこともあります。
教育長	いまは比較的自由になっています。
町長	スクール水着以外も認められているのですね。
事務局	ラッシュガードの着用も認められています。

町長	民間プールを使用することで、学校の先生も、指導は専門のコーチに任せられるので良いのではないのでしょうか。
教育委員	専門の先生に教えていただけるので先生方の助けになっているという話を伺いました。逆に、プールに入らない子の管理が大変とのことで、外部でやることのデメリットもあるそうです。
事務局	プールの管理等は民間ですが、指導自体は教員が行っています。
教育委員	温水プールの場所は未定ということでしょうか。
町長	はい。いくつかに絞ってきてはいますが、まだ公表できる段階ではありません。 担当は違いますが、２月３日からヘルメット購入に補助金が交付されます。
教育委員	一般の私たちにも交付されると、この前お聞きしました。
町長	上限５，０００円の補助があります。 今年の４月から中学校に入学する子には、ヘルメットが無償で支給されます。今検討しているのは、建設現場のようなヘルメットではなく、カッコいいヘルメットにすれば、学校に行く時と遊びに行くときで同じヘルメットが使えるのではないかとということです。 おそらく３，０００円の補助は他市町村でもあるとおもいますが、５，０００円としたのはできるだけ早い期間で皆さまにヘルメットを使用していただきたいからです。事故でお亡くなりになられる方の多くがヘルメット未着用です。 担当課の事業のPRに良い機会だと思いますが、何かありますか。
事務局	新小学１年生にランドセルを支給しておりまして、今ちょうど実穀ふれあいセンターで配布しております。中学生の入学祝い品については、制服等を購入する際に利用できる２０，０００円分の補助券を支給しております。町立中学校以外の中学校の入学者は制服等購入時の領収書等を提出いただければ、上限２０，０００円の補助が受けられます。中学生には補助券に、今年からヘルメットの支給があります。
町長	中学生のお祝い品といっても、ランドセルのような華やかなものはないんですね。ランドセル支給はすごく良い事業だと思います。ランドセルは６色７タイプあり、国内製造で６年間保証付き、Ａ４フ

教育委員	ラットファイルが入る仕様になっています。来年には、最初に支給した小学生が6年生となるので、小学校を卒業したらランドセルは町に返却していただくことになっています。返却されたランドセルは、必要とするところに送り、税金を無駄にしないようにしています。 回収したランドセルはどのようなところに送られるのでしょうか。
町長	今のところは、ライオンズクラブが海外に送っていますので、お願いしようと思っています。 また、阿見アスリートクラブに南スーダン出身のアブラハム選手がおりまして、現在全国から不要となった陸上用シューズを集めて、南スーダンに送る事業をしていますので、アブラハム選手に聞いたところぜひ欲しいとのことでした。ただ、アブラハム選手曰く、ランドセルがあっても中に入れる学用品がなく、書く物がないので、土に指で書いているそうです。 アブラハム選手は南スーダンから阿見町に来て活躍しておりまして、パリオリンピックにも南スーダンの代表として出場しました。阿見マラソン大会でも先導として走っておりまして、小学生からも慕われています。全国でトップ3に入るような陸上選手が先導するマラソン大会は、他にはないと思います。そのような繋がりがあるところに送るのが良いと思いますし、子どもたちもアブラハム選手の国に送るとなれば喜ぶと思います。
教育委員	つくば市のP連でもランドセルを海外に送る事業をしています。が、ランドセルの中に使わなくなった学用品を入れて寄贈しているそうです。小学校を卒業すると使わなくなった鉛筆やノートが出てくると思います。捨てるのであればランドセルと一緒に寄贈するのがいいと思います。
町長	そうしましょう。中に入れるものがないと言われてしまっているのです。
教育委員	つくば市のP連では今もその事業をやっていますか。私がP連の会長をやっていたときに、つくば市で大々的にその事業を行っていて、その事業にかかわっていました。阿見町でもランドセルを集めて持って行ったのですが、その際には下敷きや筆箱等の学用品も一緒に集めていました。ただ、送るのは大変だろうなと思いました。
町長	JICAの方とその話をしましたが、こちらから直接送ると間で

	搾取されてしまうそうです。JICAに持ち込めば、確実に送ってくださるとのことでした。アブラハム選手も同じ話をしていました。 阿見町で宮本聡美先生がJICA海外協力隊員としてザンビアに行っています。そこには書くものも何もないそうです。電気も4時間しかつかず、水も来ない、そのようなところに、先生を辞めて行っています。髪の毛は川に行って洗うそうです。フェイスブックに写真が上がっていますが、自然豊かなところですが、大変な思いをしているのだと思います。阿見町からはあと2人の女性が海外に派遣されています。ランドセルの送り先として海外協力隊員が派遣されている国もいいと思います。
教育委員	海外に寄贈すると報告として写真が送られてきますが、ランドセルを机代わりに使っている写真もありました。
町長	ランドセルが返却されることを想定して、海外に送る準備を進めなければいけませんね。 君原小のトイレはいつ改修の予定ですか。
事務局	来年度設計になります。
町長	そうだと再来年に工事ですかね。 阿見第二小は洋式トイレが少なく、休み時間に並んでしまうとのことです。阿見第二小は和式を洋式に変える工事でしたよね。
事務局	今年の3月までに各階2箇所の洋式化を行います。全体的な改修は少し先になります。
教育委員	阿見第二小に見学に行った際に、トイレの件で困っている話を伺ったので、3月までにできると聞いて安心しました。
町長	私も見てきましたが、西側にもトイレがありますので、そちらを使ったらいいんです。 出来れば早く、君原小と阿見第二小のトイレの改修ができればよいのですが。 大規模改修を次に行う学校はどこですか。
事務局	阿見第一小です。
町長	大規模改修も億単位の費用がかかるので計画的に行う必要があります。阿見中の体育館もそうですよね。

事務局	阿見中の体育館は学生の頃から使用していますが、私が学生だったときは県南で一番大きな体育館として有名でした。お金があれば建て替えが妥当だと思いますが。
事務局	本来はそうなのですが、まずは雨漏りを修理するためにカバー工法を行います。
町長	他にないようでしたら、以上で協議を終わりたいと思います。事務局に進行を戻します。
事務局	ありがとうございました。以上をもちまして、令和6年度阿見町総合教育会議を閉会いたします。 — 閉会 —